

そば食べて「十割」合格

上小阿仁小中学校の中学3年生 地元の旅館が振る舞う



上小阿仁村沖田面の「高橋旅館」は7日、高校受験に臨む上小阿仁小中学校の中学3年生を招き、名物の「十割そば」を振る舞った。7人がそばを味わいながら志望校合格を誓った。

そばの振る舞いは、受験生の「十割」

が志望校に合格するようにとの思いを込め、2014年から験担ぎとして毎年実施している。受験生らは「必勝」と書かれた鉢巻きを締めて来店。天ざるそばなど好きなメニューを注文した。そばが運ばれてくると、おいしそうに食べて合格を誓った。

小林亮汰さん(15)は「十割そばは風味がいい。とてもおいしく、食べて元気をもらった。3年間の勉強の成果を十分発揮できるよう、最後の仕上げを頑張りたい」と話した。

従業員の高橋渉さん(53)は「体調管理をしっかりして残りの期間頑張ってもらいたい。本番に全力を出せることを祈っている」と語った。

受験生には氏名と「合格祈願」と書かれた、旅館近くの友倉神社の絵馬も贈られた。

(石塚佳治)

(令和5年2月12日(日)秋田魁新聞より一部抜粋)

